

なかがわ

広報

2014. 10



町のイメージキャラクター
「なかちゃん」



No.109

- 平成25年度決算報告 2
- 新庁舎建設計画について 6
- 農地中間管理機構がスタート 8
- 馬頭最終処分場基本設計(案)に係る
住民説明会開催のお知らせ 9
- 平成27年度幼稚園・保育園の入園申し込み 10



大内保育園運動会
力を合わせて

秋季特別展「北斎と広重 二大巨匠の名品展」-「富嶽三十六景」をめぐる夢の競演-



第109回

富士山の裾野で激しく光る稲妻。あたり一面真っ黒な雨雲に包まれ、下界では夕立が降っていることが暗示されています。

しかし、山の上は真っ青に晴れた空。白い積乱雲が浮かび、雪を僅かに残す山頂は、明るい夏の日差しに照らされています。

これは、葛飾北斎の代表作、「富嶽三十六景」の一枚で、「山下白雨」という作品です。白雨とはにわか雨のことで、山の上は晴れているけれど下は雨、という様子が描かれています。富士山では雲よりも山頂が高くなるためにこのような現象が起きるわけです。北斎はその高さを強調するために、実際より頂上が鋭く尖った富士山を描いています。

また、土色の地肌を晒す富士山には、黒い絵の具が幾重にも重ねられ、恐ろしいまでの力強さが表現されています。「富嶽三十六景」の「凱風快晴」が「赤富士」と呼ばれるのに対し、本図はその色遣いから「黒富士」と呼ばれていますが、「赤富士」が穏やかで静的であるのとは対照的に、「黒富士」からは激しい稲光とともに起こる雷鳴や地響きまでもが聞こえてくるようです。

「富嶽三十六景」は当初、題名の通り36図の出版が予定されていましたが、売れ行きが好評だったようで、10図が追加されて最終的に46図で完結しました。関東近辺のいろいろな場所から見える富士山の姿形を描き分けたこの作品は北斎の代表作であり、日本の風景版画の代表作ともされています。

「北斎と広重 二大巨匠の名品展」では、「山下白雨（黒富士）」、「凱風快晴（赤富士）」、「神奈川沖浪裏（大浪）」をはじめとする北斎の「富嶽三十六景」シリーズを、広重の「富士三十六景」、「不二三十六



葛飾北斎「富嶽三十六景 山下白雨」
中外産業株式会社（原安三郎コレクション）

景」とともに展示します。

富士山をめぐるって繰り広げられる二大巨匠の競演を、どうぞお楽しみください。

広重美術館 主任学芸員 長井裕子

【会 期】前期 ~10月13日(月)
後期 10月18日(土)~11月24日(月)

【ミュージアムトーク】当館学芸員による展示解説。
後期 10月18日(土) 午後1時30分~。

【開館時間】午前9時30分より午後5時まで
(但し入館は午後4時30分まで)

【入館料】

大人 700円(630円)
高・大学生 400円(360円)

※()は20名以上の団体料金。

※中学生以下は無料。

※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額

“なかちゃん”からのお願い

ゆるキャラ®グランプリの投票期間が残りわずかとなりました。
みなで応援してね！よろしくお願ひします♪

投票の仕方

- ①公式サイトへアクセス (<http://www.yurugp.jp/>)
または右のQRコードからアクセス
- ②ID登録 ※初回のみ
- ③IDログイン
- ④1日1回の投票ができます



投票期間は10月20日まで！

問い合わせ 企画財政課 ☎0287-92-1114

